

「地方創生 2.0 に関する自治体アンケート調査」結果の公表に当たり

昨年の石破茂政権の発足とともに「地方創生 2.0」がスタートし、これについての国の「基本的な考え方」が昨年末に公表されました。そこには、これまでの地方創生（便宜上ここでは「地方創生 1.0」とします）とは大きく異なる特徴を見出すことができます。

例えば人口問題について地方創生 1.0 では、国は自治体が主体となり、それぞれで人口が減らない方策を考えるべきとの姿勢でした。しかし、地方創生 2.0 では、人口問題を自治体に押し付けることなく、しかも、当面は人口が減ることを冷静に受け止めた上で、人口規模が縮小しても社会を機能させる適応策を講じるとの方針を打ち出しています。

これまで多くの自治体では、人口規模を縮小させないために、移住促進などに力を入れてきました。その努力に水を差すつもりはありませんが、所詮は全体として人口が減る中で、地域間が人口を奪い合うことにほかなりません。人口規模より社会機能の維持の方に重点を置く考えは現実的であり、賢明だと思います。

また、「基本的な考え方」では、これからの地域づくりについて、「若者や女性に選ばれる」という視点が強調されています。ジェンダーギャップやアンコンシャスバイアスの解消の大切さにもふれています。これらは若者の域外流出に悩む多くの地域にとってはとても重要な視点です。

このように地方創生 1.0 と比較して数段バージョンアップした地方創生 2.0 には、大きな成果が上がることを期待しています。ただ、そのために最も肝心なことは、自治体がこれにどのような姿勢で臨むのかということです。

そこで、いささか時期尚早のきらいはありましたが、取り敢えず現時点で自治体が地方創生 2.0 をどのように受け止めているか、これからどう対応しようとしているのかという点を把握したいと考えて実施したのがこのアンケート調査です。

また、自治体が具体的にどのような課題を戦略的に重要だと考えているか、そうした課題解決にはどのような人材が求められるか、それをどうやって確保し、養成しようとしているかなどについても、併せて調査しています。

調査結果からは、地方創生 2.0 への対応だけでなく、現下の自治体運営の実相の一端が読み取れると思います。それは地方創生 2.0 に取り組む自治体のみならず、地方自治や地域活性化に関する施策を練り、研究する方々にも有益な資料となるはずです。

最後になりましたが、アンケート調査を実施するに当たり、とても慌ただしい時期であったにもかかわらず、真摯にご協力いただいた自治体の関係者のみなさんには心より御礼申し上げます。

大正大学地域構想研究所 所長 片山善博

調査概要

- 調査期間／実施期間：令和7年3月21日から令和7年4月30日まで
- 調査対象：全国の市町村および特別区（合計1,741自治体）
- 調査方法：
 - 郵送にて案内（QRコードの回答フォームの案内）
 - WEBアンケート（Questant）
 - FAXおよびメールによる回答受付
- 回収率

区分	回収数	自治体数	回収率（%）
特別区	12	23	52.2
市	270	792	34.1
町	169	743	22.7
村	43	183	23.5
全体	494	1741	28.4

地方創生2.0に関する自治体アンケート調査 結果報告

▶報告書本体（本メール添付にてご案内）

（本体目次）

- 1-1. 地方創生2.0への温度差
- 1-2. 人口減少を前提とした政策立案へのスタンス
- 2. 総合戦略はどこまで動いているか？
- 3. 自治体が抱える課題
- 4. 現場が求める研修とは？

▶調査票形式（実数）結果（次ページより）

[調査票]

●自治体の現状について、お伺いいたします。

Q 1-1 貴自治体名をご記入ください。

【貴自治体名】

Q 1-2 貴自治体の属性を教えてください。(N=494)

1. 市 54.7% (270)
2. 区 2.4% (12)
3. 町 34.2% (169)
4. 村 8.7% (43)
5. その他 0.0% (0)

Q 1-3 貴自治体の人口規模であてはまるもの1つに○をつけてください。(N=494)

1. 5万人未満 61.7% (305)
2. 5万人以上～10万人未満 14.6% (72)
3. 10万人以上～30万人未満 17.2% (85)
4. 30万人以上～50万人未満 3.0% (15)
5. 50万人以上～100万人未満 2.6% (13)
6. 100万人以上 0.8% (4)

●地方創生 2.0 について、伺いたします。

Q 2-1 「地方創生 2.0」に対する貴自治体の姿勢として、最も近いものを1つ選んで○をつけてください。(N=493 ※無回答 1 を除く)

1. 新しい概念として積極的に取り入れている 10.3% (51)
(施策や取り組みに反映している、など)
2. 既存の施策・事業を見直すきっかけとして検討している 22.5% (111)
(内部や他団体と議論している、など)
3. 地方創生 1.0 の延長として考えている 44.2% (218)
(これまでの延長線上で取り組んでいる、など)
4. まだ特に意識していない 22.9% (113)
(具体的な取組や議論は進んでいない、など)

Q 2-2 人口減少を前提とした地域づくりの考え方を「スマートシュリンク」と呼びます。
この概念について、貴自治体ではどの程度ご存知ですか？

あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。(N=494)

1. よく知っている 5.3% (26)
2. ある程度知っている 24.7% (122)
3. 聞いたことはあるが、詳しくは知らない 41.9% (207)
4. 全く知らない 28.1% (139)

Q 2-3 上記Q 2-2で「1. よく知っている」または「2. ある程度知っている」と回答した
方は、スマートシュリンクに対して、どのような印象をお持ちですか？

あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。(N=147 ※無回答 1 を除く)

(首長、自治体としてのご意見を教えてください)

1. 前向きに捉えている (地域の持続可能性に貢献する) 17.7% (26)
2. どちらかといえば前向きに捉えている 27.2% (40)
3. 中立的 (良い点と課題の両方があると考えている) 53.1% (78)
4. どちらかといえばネガティブに捉えている 1.4% (2)
5. ネガティブに捉えている (地域の衰退を容認する考え方だと感じる) 0.7% (1)

Q 2-4 人口減少を前提とした政策立案について、どのようにお考えですか？

最も近いものを1つ選んで○をつけてください。(N=493 ※無回答 1 を除く)

1. 積極的に取り入れるべきであり、現実に即した施策が重要だと考えている **37.5% (185)**
2. 必要だが、強調しすぎると後ろ向きな思考になりすぎる懸念があると考えている **27.0% (133)**
3. 必要だが、あえて強調する必要はあまりないと考えている **12.8% (63)**
4. 可能な限り人口減少を抑制する施策に重点を置くべきだと考えている **19.9% (98)**
5. その他 **2.8% (14)**

Q 2-5 地方創生 2.0 を念頭に、総合戦略を策定しなおす、または改訂するなどの予定はありますか？最も近いものを1つ選んで○をつけてください。(N=493 ※無回答 1 を除く)

1. 全面的に策定しなおす予定 **10.8% (53)**
2. かなり改訂する予定 **4.9% (24)**
3. 一部改訂する予定 **21.5% (106)**
4. まったく改訂しない予定 **8.7% (43)**
5. 未定 **35.1% (173)**
6. その他 **19.1% (94)**

Q 2-6 上記Q 2-5で「1. 全面的に策定しなおす予定」、「2. かなり改訂する予定」、「3. 一部改訂する予定」、「5. その他」と回答した方は、上記で改定を予定している場合、その際の外部委託（コンサルタントや有識者など）についてどのような予定ですか？

最も近いものを1つ選んで○をつけてください。(N=274 ※無回答 3 を除く)

※確定している場合も「予定」としてお答えください

1. かなりの部分を外部委託する予定 **17.9% (49)**
2. 一部を外部委託する予定 **30.3% (83)**
3. 外部委託はしないが、専門家の協力を得る予定 **5.5% (15)**
4. 全て、自治体内で行う予定 **32.5% (89)**
5. 未定 **5.5% (15)**
6. その他 **8.4% (23)**

Q 2-7 上記Q 2-6で「1. かなりな部分を外部委託する予定」、「2. 一部を外部委託する予定」、「3. 外部委託はしないが、専門家の協力を得る予定」、「4. 全て、自治体内で行う予定」、「6. その他」と回答した方は、外部委託の予定について、実際にはどのように感じていますか？
最も近いものを1つ選んで○をつけてください。(N=255 ※無回答4を除く)

1. 本当はもっと職員が担うべきだが、現実的に難しいと感じている **33.3% (85)**
2. 本当はもっと外部委託したいが、予算や組織の方針で難しい **24.3% (62)**
3. 特に意識していない **28.6% (73)**
4. その他 **13.7% (35)**

●地域の課題と人材についてについてうかがいます。

Q 3-1 現在、貴自治体が抱えている大きな課題は何ですか？以下の項目からあてはまるものをすべて選んで○をつけてください。 (N=493 ※無回答 1 を除く)

1. 人口減少・少子高齢化 93.1% (459)
2. 財政問題 66.3% (327)
3. 地域産業の衰退 54.4% (268)
4. 災害対策・防災・減災 41.8% (206)
5. 教育・子育て支援 59.6% (294)
6. 医療・福祉の充実 46.5% (229)
7. デジタル化・DX 推進 58.2% (287)
8. 公共施設や公共交通の老朽化、継続 79.9% (394)
9. 環境問題・持続可能な開発 (SDGs) 27.4% (135)
10. その他 2.6% (13)

Q 3-2 上記 (Q 3-1) で挙げた課題の中で、特に戦略的に重視している課題を2つ選んで枠に数字を記入してください。 (N=490 ※無回答 3 を除く)

1. 人口減少・少子高齢化 75.5% (370)
2. 財政問題 15.5% (76)
3. 地域産業の衰退 14.9% (73)
4. 災害対策・防災・減災 6.7% (33)
5. 教育・子育て支援 29.4% (144)
6. 医療・福祉の充実 5.3% (26)
7. デジタル化・DX 推進 14.3% (70)
8. 公共施設や公共交通の老朽化、継続 19.8% (97)
9. 環境問題・持続可能な開発 (SDGs) 2.4% (12)
10. その他 1.2% (6)

Q 3-3 上記 (Q 3-2) で挙げた課題に対して、職員のスルルや能力で、不足していると感じるものは何ですか？以下の項目からあてはまるものをすべて選んで○をつけてください。

(N=488 ※無回答 6 を除く)

1. 法律・制度に関する知識 24.6% (120)
2. 当該課題分野の専門知識 66.4% (324)
3. 予算、財務管理 31.1% (152)
4. 調査やデータ分析スキル 63.3% (309)
5. デジタルや業務効率化スキル 50.6% (247)
6. 広報、PR スキル 34.2% (167)
7. その他 4.3% (21)

Q3-4 上記(Q3-3)で挙げたスキルの中で、現在、最も必要としているものを1つ選んで○をつけてください。(N=484 ※無回答4を除く)

1. 法律・制度に関する知識 2.7% (13)
2. 当該課題分野の専門知識 34.7% (168)
3. 予算、財務管理 11.0% (53)
4. 調査やデータ分析スキル 24.2% (117)
5. デジタルや業務効率化スキル 16.7% (81)
6. 広報、PRスキル 7.4% (36)
7. その他 3.3% (16)

Q3-5 地域活性化を進めるために、貴自治体内にどのような人材が必要だと感じますか？
以下の項目からあてはまるものをすべて選んで○をつけてください。

(N=488 ※無回答6を除く)

1. 地域の課題を見つけてプロジェクトを推進するリーダー 81.6% (398)
2. リーダーを支えながら現場を動かす実行マネージャー 52.3% (255)
3. 人と人をつなぎ、対話を促すコミュニケーター 54.5% (266)
4. デジタル技術を活用して新しい価値や視点を生み出すイノベーター 52.9% (258)
5. 地域の魅力を発掘し、新しい取り組みを企画するプランナー 67.0% (327)
6. グローバルな発想で地域を豊かにするコーディネーター 35.2% (172)
7. その他 1.6% (8)

Q3-6 上記(Q3-5)で挙げた人材の中で、現在、貴自治体内で最も必要としているものを1つ選んで○をつけてください。(N=484 ※無回答4を除く)

1. 地域の課題を見つけてプロジェクトを推進するリーダー 49.6% (240)
2. リーダーを支えながら現場を動かす実行マネージャー 11.8% (57)
3. 人と人をつなぎ、対話を促すコミュニケーター 10.7% (52)
4. デジタル技術を活用して新しい価値や視点を生み出すイノベーター 9.1% (44)
5. 地域の魅力を発掘し、新しい取り組みを企画するプランナー 14.5% (70)
6. グローバルな発想で地域を豊かにするコーディネーター 2.9% (14)
7. その他 1.4% (7)

●職員の人材育成について、お伺いたします。

Q 4-1 職員のスキル向上に向けた研修や教育プログラムを実施していますか？

あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。(N=493 ※無回答1を除く)

1. 実施している 86.0% (424)
2. 実施していないが今後予定がある 3.4% (17)
3. 実施していないが今後も予定はない 8.1% (40)
4. 過去に実施していたが現在は行っていない 2.4% (12)

Q 4-2 上記Q 4-2で「1. 実施している」と回答した方は、実施している職員のスキル向上に向けた研修や教育プログラムは、どの方法（会場）で実施していますか？

あてはまるものをすべて選んで○をつけてください。(N=423 ※無回答1を除く)

1. 自治大学校 37.6% (159)
2. 市町村アカデミー 62.4% (264)
3. 国際文化アカデミー 30.3% (128)
4. 都道府県（または自前の）研修施設 66.9% (283)
5. 大学・大学院への受講支援 12.8% (54)
6. eラーニング研修 66.9% (283)
7. 他団体や民間企業への派遣 54.8% (232)
8. 内部研修（OJT） 78.0% (330)
9. その他 8.3% (35)

Q 4-3 以下のそれぞれの職員向け教育プログラムの受講形式について、あてはまるものを1つずつ選んで○をつけてください。

項目	1. やって いて今後増 やしたい	2 やって いて横ばい	3. やって いて減らし たい	4. やって いたが今後 やらない	5. やって いないが今 後実施した い	6. やって いないし今 後も予定な し
オンライン講座 (N=485) (※無回答 9 を除く)	24.1% (117)	54.0% (262)	1.0% (5)	0.4% (2)	9.3% (45)	11.1% (54)
対面講座 (N=483) (※無回答 11 を除く)	11.8% (57)	74.7% (361)	3.5% (17)	0.2% (1)	3.9% (19)	5.8% (28)
ハイブリッド形式 (N=481) (※無回答 13 を除く)	11.9% (57)	45.9% (221)	1.5% (7)	0.2% (1)	12.9% (62)	27.7% (133)
短期集中型 (N=479) (※無回答 15 を除く)	6.1% (29)	51.4% (246)	0.6% (3)	0.6% (3)	8.6% (41)	32.8% (157)
長期異部署（他団 体）交流型 (N=477) (※無回答 17 を除く)	5.2% (25)	54.5% (260)	2.1% (10)	1.9% (9)	8.8% (42)	27.5% (131)

Q 4-4 教育プログラムに期待することについて、あてはまるものをすべて選んで○をつけてください。 (N=489 ※無回答 5 を除く)

- | | |
|-------------------------------|-------------------------|
| 1. 実務に直結する内容 88.5% (433) | 4. その他 1.8% (9) |
| 2. 講義+実践の組み合わせ 62.6% (306) | 5. 期待することは特にない 1.6% (8) |
| 3. 他自治体や企業との交流の機会 50.9% (249) | |

Q 4-5 上記 (Q 4-4) で挙げた、教育プログラムに期待することの中で最も期待しているものを1つ選んで○をつけてください。 (N=477 ※無回答 4 を除く)

- | | |
|-----------------------------|-----------------|
| 1. 実務に直結する内容 75.5% (360) | 4. その他 1.0% (5) |
| 2. 講義+実践の組み合わせ 15.9% (76) | |
| 3. 他自治体や企業との交流の機会 7.5% (36) | |

Q 4-6 職員が教育プログラムに参加するうえでの障壁は何ですか？以下の項目からあてはまるものをすべて選んで○をつけてください。(N=488 ※無回答 6 を除く)

- | | |
|---------------------------|-------------------------|
| 1. 時間の確保 93.0% (454) | 5. プログラムの内容 25.6% (125) |
| 2. 予算不足 40.4% (197) | 6. その他 2.3% (11) |
| 3. 職員のモチベーション 63.5% (310) | 7. 障壁は特にない 1.4% (7) |
| 4. 上司・同僚の理解 18.6% (91) | |

Q 4-7 上記(Q 4-6)で挙げた参加するうえでの障壁の中で、最も障壁となっているものを1つ選んで○をつけてください。(N=480 ※無回答 1 を除く)

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| 1. 時間の確保 69.0% (331) | 5. プログラムの内容 2.1% (10) |
| 2. 予算不足 8.1% (39) | 6. その他 1.5% (7) |
| 3. 職員のモチベーション 17.5% (84) | |
| 4. 上司・同僚の理解 1.9% (9) | |

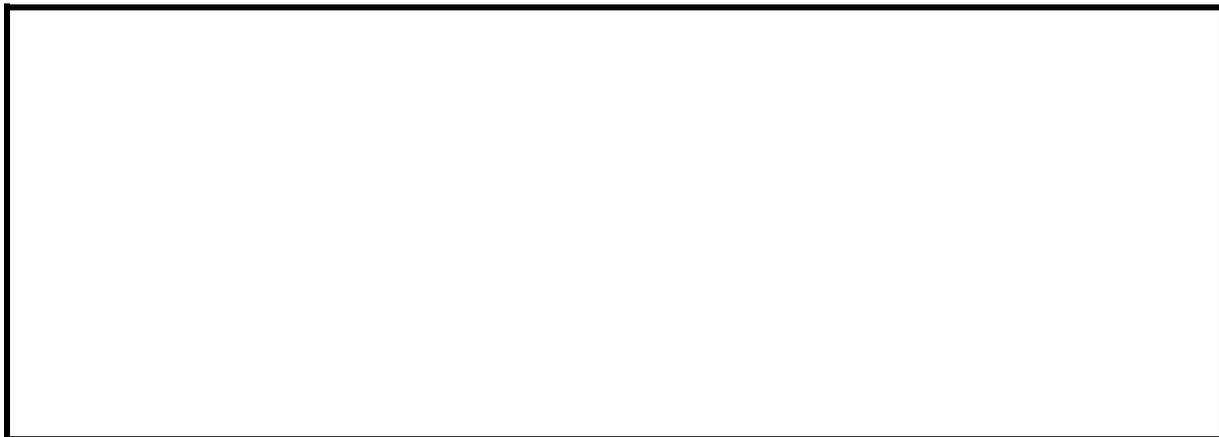
Q 4-8 大学に期待する内容について、以下の項目からあてはまるものをすべて選んで○をつけてください。(N=489 ※無回答 5 を除く)

1. 幅広い知識の提供 (リベラルアーツなど) 59.1% (289)
2. 実践的なスキルの学び直し (リスキリング・社会人教育) 49.1% (240)
3. 最新の知識を学び続ける機会 (リカレント・継続学習) 50.7% (248)
4. 地域と連携した調査・研究 72.2% (353)
5. 研究成果を生かす社会実装 47.6% (233)
6. 人材交流やネットワークの場の提供 42.1% (206)
7. その他 2.9% (14)

Q 4-9 上記(Q 4-8)で挙げた大学に期待する内容の中で、最も期待する内容を1つ選んで○をつけてください。(N=485 ※無回答 4 を除く)

1. 幅広い知識の提供 (リベラルアーツなど) 16.3% (79)
2. 実践的なスキルの学び直し (リスキリング・社会人教育) 14.2% (69)
3. 最新の知識を学び続ける機会 (リカレント・継続学習) 10.9% (53)
4. 地域と連携した調査・研究 36.5% (177)
5. 研究成果を生かす社会実装 11.5% (56)
6. 人材交流やネットワークの場の提供 7.6% (37)
7. その他 2.9% (14)

Q5 その他、ご意見・ご要望がありましたらご記入ください。【自由回答】

A large, empty rectangular box with a black border, intended for a free response to the question above. The box is currently blank.